



Team Dainan

八千代市立大和田南小学校
《校長室だより》
令和3年度 第23号
令和3年 10月4日

6年生 総合 SDGs をキーワードにしたテーマ学習

～日本が、そして、世界が抱える課題を自分ごととして捉え、具体的な行動に移す～



校長へのプレゼンテーション

大和田南小学校では、「知識重視の教育」から「資質・能力を育成する教育」への転換を図っています。

すなわち、教師が「何を教えるか」から子供たちが「何ができるようになるか」という転換です。本校が、ユネスコスクールの仲間入りを目指したのは、今の6年生が1年生のときでした。そして、3年生のときにユネスコスクールの仲間入りを果たしました。6年生は、入学時から

SDGs を学び、身近なところから世界に目を向け、地球のためになる小さな一歩を踏み出した子供たちでもあります。

6年生は、この6年間の学習の集大成として総合的な学習に時間において、SDGs17の目標を自分ごととして捉え、今、自分たちにできることを考え、具体的な行動に移す学習をしています。6年生4クラス、目指すゴールは同じですが、そこに向かう経路はそれぞれクラスごとに話し合って決めているため、違いがあります。今回の校長室だよりでは、その取組の一端を紹介いたします。

テーマ①「SDGs でみんなの未来を最高にしよう！」

【チャリティー商品で、ちょっといいことしませんか？】

先週、6年生の児童が、企画書とサンプル品をもって校長室を訪ねてきました。その企画書には、「働く大変さを知り、寄付することで恵まれない貧困層の子供たちの苦しみを減らす」と目的が書かれていました。その他にも、保護者の皆さまに協力依頼する手紙やサンプル商品の見どころ、寄付先なども記載されていました。その企画書からは、「校長先生を納得させ、許可を得て、自分たちの考えたことを具体的な行動に移したい」という子供たちの熱い思いが伝わってきました。

今回の6年生の募金活動がこれまでの募金活動と大きく違うのは、単に募金をお願いするのではなく、商品を生産し、制作にかかった材料費を引いた利益を寄付に当てるということです。SDGsはもともと、「経済」・「社会」・「文化」という3つの領域において、将来に向け「持続可能な開発」も進めていながら未来の世界を生きる人々が幸せな暮らしを送っていけるようにするためのものです。今回提案をしてくれた子供たちの企画は、より実社会でのSDGsに近いものとなります。この他にもクラス内で話し合い、次のような取組をしています。

- ・パラスポーツ大会チーム
シッティングバレーボール体験会
- ・出張授業チーム
1～4年生にSDGsミニ授業を実施
- ・アートマイルチーム
海外の学校壁画の協働制作
- ・SDGsゲームチーム
身近な問題に焦点を当てたすごろくゲームづくり



すごろくゲームづくり

テーマ②「人のため・世界のために SDGs で未来を変える」

テーマを「人のため・世界のために SDGs で未来を変える」に決めたクラスでは、1学期から次のような計画で活動を行ってきました。



1学期

関心のあるSDGsをもとに世界の問題について調べ、プレゼンテーションソフトを使っての発表

夏休み

自分にできるSDGsの取組

内容例) 賞味期限の近いものを買う、節水をする、残さず食べ物を食べるなど

2学期

- ①夏休みの振り返りを行い、夏休みの取組がSDGsの何番につながっているのかを考える。
- ②友達の取組んだ内容と比べ、自分の取組とつながっている場合は、つなげて考える。
- ③身近でできるSDGsの取組はないかを話し合っ

- ④同じ関心をもつ人で集まり、取り組む活動を決める。
- ⑤活動目標を決める。(何のために・誰のために、どのような思いで、どんな役に立つのか)
- ⑥活動計画を立てる・役割分担(何を、いつまでに、どのように、どのくらい、どこへ、誰に)
- ⑦活動を行う。

子供たちは、次のようなチームに分かれて活動を行っています。

【ペットボトルキャップ回収チーム】

＜目標＞二酸化炭素排出削減のため、市内に回収箱を置いて11月までに1500個集める。

＜活動＞ペットボトルキャップの回収、回収箱づくり(ジェットコースター式)
企業との連携(三協化学工業所)し、回収後、ワクチンとして利用してもらう

【ペットボトル回収チーム】

＜目標＞服を作って難民に届けたい。そのためにペットボトル箱を作って11月までに1000本集め、企業に送って服を作ってもらう。

＜活動＞ペットボトルの回収 回収箱づくり(容器の大きさごとの入れ口を作る。)
企業にリサイクルをしてもらい、服を作ってもらう(現在、企業と交渉中)

【絶滅危惧種を守るチーム】

＜目標＞絶滅危惧種を減らすために、ごみの持ち帰りやポイ捨てなどをやめるように呼び掛けをする。

＜活動＞ポスター・プレゼンテーション資料・全校配付用の手紙づくりを行う。

総合の学習をしているときの子供たちの目は、とてもキラキラと輝いています。

6年生の子供たちは、実際に活動してみると様々な課題に直面するかもしれません。しかし、それを一つ一つ乗り越えていく力をもっています。

SDGsの取組方は無限大です。一人一人が目標をもって身近なことから変えていったり、友達と行動を起こしたりすることで着実に変わっていくと思います。

